

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆8月の対米輸出13.8%減 トランプ関税で落ち込み続く

・財務省が発表した8月の貿易統計速報によると、米国向けの輸出額は1兆3854億円と、前年同月に比べ13.8%減った。減少は5カ月連続。対米貿易黒字は50.5%減の3239億円と、2023年1月以来の低水準だった。トランプ米政権の関税政策の影響が続き、自動車の輸出額が減少した。

◆7～9月実質GDP、年率1.11%減予測 日経センターまとめ

・日本経済研究センターがまとめた民間エコノミストの経済見通し「ESPフォーキャスト調査」によると、7～9月期の実質GDP(国内総生産)の予測平均は前期比年率で1.11%減。米関税政策の影響で輸出が全体を下押しするとみる。個人消費は0.12%増、設備投資は0.24%増。10～12月期予測は前期比年率で0.39%増とプラスに転換するとみる。

◆中国訪日客4人に1人が「おひとりさま」 コロナ前比2倍、女性が支え

・日本を訪れる中国人で「おひとりさま」の比率が高まっている。2025年4～6月期はおおよそ4人に1人が「自分ひとり」での来日となり、比率は19年通年から2倍弱に高まった。中国人の月間訪問数が100万人規模となるなか、「爆買い」だけでなく、多様な需要に応えるサービスが必要になりそう。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆電力株高騰、東日本大震災前に迫る 原発活用・割安感で買い集まる

・電力会社株が高値圏で推移。東証株価指数(TOPIX)33業種別の「電気・ガス業」は7月から上昇が顕著で東日本大震災前の水準に迫る。原子力発電所の新設や再稼働に関する動きが続き、株価を押し上げた。割安感に注目した買いも集まっている。電気・ガス業の終値は6月末比25%高の625。同期間のTOPIX全体(11%高)を大きく上回る。

◆改正建設業法12月施行 「標準労務費」導入、工事費の押し上げ要因に

・2025年12月までに全面施行される改正建設業法によって、「労務費の基準(標準労務費)」が建設工事の請負契約における新たなルールとして導入される。国土交通省は25年9月下旬まで、建設会社や建設業団体、民間発注者、自治体の発注担当部局などを対象として、北海道から沖縄まで全国10地区で標準労務費の説明会を開いている。

◆基準地価4年連続で上昇 東京の伸び加速、海外の投資マネー流入

・国土交通省が発表した2025年の基準地価は、住宅地や商業地といった全用途平均の全国の上昇率が1.5%だった。4年連続で上昇した。海外から投資マネーが流入する東京圏がけん引役となった。国内景気がインフレを伴って緩やかに回復する中、地価も上がるサイクルが続いている。

《 注目商品 》

■パナソニック、使い勝手とコンパクトを両立させた対面キッチン

・「Panasonic KITCHEN(パナソニックキッチン)L-CLASS」から、使い勝手とコンパクトさを両立させた新プラン「compact-3 plan」の提案を開始。鍋・フライパンを横並びで3つ同時に使える「フラットワイドコンロ」、3方向から使える「ラウンドアクセスシンク」など。



■YKK AP、「ドアリモ 玄関ドア D30 防火ドア」

・カバー工法により外壁を壊さず1日で最新のドアへ交換できる国土交通大臣認定の防火設備「ドアリモ 玄関ドア D30 防火ドア」をリニューアルし発売。基本構造を見直し、デザインやカラーのバリエーションを大幅に拡充。



■エービーシー商会、人口大理石製洗面カウンターに新型追加

・アクリル系人工大理石「コーリアン」製カウンターとボウルの色柄を自由に組み合わせることが出来る「アソートカウンター」に3種の新型を追加。ボウルが緩やかに立ち上がるデザインの「ノヴァラ」、ベッセルタイプの「パレティア」などを新たにラインナップ。

